

平成 24 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,198,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,412.06㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,186	15,975	13,337	16,448	13,216
	移動児童館利用者数	381	389	552	662	392
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	7	6	7	10	5
	開館日数(単位:日)	151	157	152	157	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(嘱託職員)、正規職員(1名)、嘱託職員(1名)。 ③広報誌「あそぼっけ」の配布、「幼児版あそぼっけ」の作成配布、「回覧板あそぼっけ」の作成配布 児童館ホームページ掲載。ぶりあネット登録 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②ボランティアの協力を得て環境美化の行事。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル・リユース)に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①フェンス東側門扉の開閉が悪く、道路側に戸が開いてしまい事故につながるおそれがあった門扉を修繕した ②ボランティアの協力を得て修繕を行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 事故対応マニュアルを作成し、設置した。 防災訓練の月1回実施

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年3月7日～3月15日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数68人(回収率97%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブ 満足74%、ほぼ満足23%、やや不満3%、不満0% 意見 毎回体操をしてほしい⇒取り入れます。 ○職員 満足96%、ほぼ満足4%、やや不満0%、不満0% 意見 いつも笑顔で毎回気持ち良く利用できた。 ○施設 満足54%、ほぼ満足40%、やや不満6%、不満0%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・要望 ⇒回答 新しいおもちゃが増えるとうれしい ⇒購入する方向で検討します。 冬、床が冷たいのでじゅうたんなどを敷いてほしい ⇒マットを敷いて対応します。 寒いときがある⇒エアコンの温度調整をします。 ホールや遊戯室が暗くて寒い ⇒申し出ていただければ電灯やエアコンを入れます。 一般利用のときも積極的に声かけをしてほしい⇒対応していきたい。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援事業を積極的に行い、子育て不安の軽減のため努力した。 ・乳幼児と保護者対象の登録制幼児教室を実施した…平成23年度下半期38回→平成24年度下半期40回 ・乳幼児と保護者対象の自由参加幼児教室を実施した…平成23年度下半期9回→平成24年度下半期10回 ○母親クラブと連携し、地域の子育て力向上に貢献した…平成24年度下半期64回実施 ○子育て不安を抱える保護者への相談支援を毎月1回実施し、子育て不安の緩和と気になる子の支援への積極的取組に貢献した…平成24年度下半期6回実施し、12人の相談者の受け入れをした ○地域への広報活動目的で昨年度から始めた回覧板のおたよりを上半期の1校区から、下半期5校区へと配布地域を広げ、地域の一戸一戸に情報が行き届くようにした…上半期330部→下半期3150部 ○主任児童委員会との連携を図り、地域との連携を密にした…定例会4回の他、情報交流会を3回行った ○蔵書の購入や整備、修繕に取り組み児童書の貸し出しを啓発した…平成24年度下半期貸出数385冊
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成24年度上半期評価委員会からご指摘があった、岐阜市の子育て支援サイト「ふりあネット」の活用については、岐阜市子ども家庭課に平成24年度下半期に登録の申請をした。今後「ふりあネット」を活用し一層の広報に努めていきたい。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○0歳児サロンへの栄養指導について ・栄養士の協力を得て、希望者に対し栄養指導の時間帯を設け、気軽に相談できる体制を整える ○回覧板の活用について ・回覧板を配布したことによる地域からの認知度の向上はまだ数字には表れないものの、地域における会議や各種団体に所属する方々からの反応が徐々に表れてくるようになってきた ・回覧板による移動児童館への取り組みの情報提供の他、地域の子育て支援サークルや、放課後児童クラブへの積極的な働きかけを行い、移動児童館の増加を目指している

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより発行・ホームページや移動児童館事業を行い、広報活動や遊びの提供に努めた。特に地域への広報活動において回覧版のおたよりの配布地域を大幅に広げた。また、アンケートを実施し、ニーズの把握とサービス改善に努めた。</p> <p>利用者ニーズに応え、図書・遊具の充実を図り、利用しやすい配置等工夫を行った。</p> <p>子育て支援事業として、臨床発達心理士や保育士による毎月1回子育て相談日を実施し、予約がなくても相談ができるようにした。必要に応じて専門機関の紹介をしたり連携することで問題の解決にむけて支援体制を整えた。大変良い取り組みだと思われる。</p> <p>地域組織活動支援として、母親クラブの育成に努めた。</p> <p>職員体制については児童厚生員の資格を有する職員を3人以上配置している。経営状況については、問題なく運営が行われた。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>事業の実施においても利用者のニーズを取り入れた方策が取られていると見受けられる。</p> <p>各施設でノウハウを共有するなどして今後もより充実した活動をしていただきたい。</p>
